

小学校 第1学年 生活科学学習指導案

平成27年12月11日 金曜日 第4校時

1年児童数

指導者

1 単元 じぶんでできるよ

2 単元観・キャリア観（キャリア教育の観点に関わる部分にアンダーライン）

（1）単元観

本単元は、学習指導要領の内容（2）「家庭と生活」の内容「家庭生活を支えている家族のことや自分でできるようになったことなどについて考え、自分の役割を積極的に果たすとともに、規則正しく健康に気をつけて生活することができるようにする」を受けて設定したものである。子どもたちにとって家庭とは、生活の基本となる場であり、自分を支え、育んでくれる人がいる場である。しかし、児童にとってあまりにも身近なものであるため、家族一人一人が家庭生活を支えていることや、自分もその一員であること、家庭の中で自分でもできることについて、意識することなくすごしていることが多い。本単元を通して、自分を見つめ、家族の支え合いによって毎日の自分の生活が成り立っていることを知り、家族のために自分は何ができるかを見つけ、それを実際の生活の中で実践させたい。また、お手伝いだけに目を向けさせるのではなく、家の人にしてもらっていることにも目を向けさせ「自分のことは自分でする」自立の基礎となる学習にしたい。

（2）児童観

本学級の児童は、家族と出かけたことや、遊んだこと、出来事などを教師に話すことが多い。友だち同士で会話をすることもある。「昨日（家族）みんなでイオンへ行っちゃった。」「昨日の夜、おじいちゃんとえびを捕りに行っちゃった。」等、特に週明けは、教師の顔を見るなり家族との出来事を話してくる。また、母の日の「お母さんへの手紙」からも「お母さんが喜ぶことをしたい。」「お母さんが喜んでくれたら嬉しい。」という思いはみんなもっている。一方で、家の人に甘えて自分のことをいろいろしてもらったり、してくれていること自体を当たり前と考えたりしてしまう一面ももっている。

そして、7月と9月に行った生活実態調査では、お手伝いはしてはいるが毎日ではなかったり、今までにしたことはあるが、調査中はできていなかったりといった実態であった。また、「うんこが毎日出ていないのだと気づきました。朝起きる時間を早くして、ゆっくりトイレに座る時間をもたせてあげたいと思いました。」「仕事の都合で寝る時間が遅くなりがちです。頑張って9時までに寝ることができるようにしたいと思います。」など、母親からの感想も見ることができた。

（3）指導観

本単元では、まず、規則正しく健康な生活をする事の大切さに気付かせ、家の人がしていることや自分がしてもらっていることを振り返り、家族の仕事の多さを感じさせる。次に、自分でできることについて考え、取り組ませ、家庭での実践が継続的に行えるように、グループで伝え合い交流する活動を設定する。さらに、自分が続けていきたいこと、挑戦したいことを考え実践させ、本時では、これまでの取り組みをきっかけに紹介する発表会を行いたい。発表会后、家族に書いてもらったありがとうの手紙を読むことで、子どもたちは喜びや達成感を味わい、家族の温かさや家族の一員としての自分の存在感を強く意識することができるようにしたい。そして、本単元での取り

組みを冬休みや日常生活の中で主体的に継続していくことができる児童を育てたい。

3 単元の指導目標

○教科の指導目標・キャリア教育視点でのつきたい力

・家庭生活について調べたり、尋ねたりすることを通して、自分の家庭生活を振り返り、家庭生活を支えている家の人のことや、家の人のよさ、自分でできることなどについて考え、自分の役割を積極的に果たすとともに、規則正しく健康に気をつけて生活することができるようにする。[人間関係形成・社会形成能力]

4 単元の評価規準

生活への関心・意欲・態度	活動や体験についての思考・表現	身近な環境や自分についての気付き
◎家庭生活を支えている家の人のことや、自分でできることなどに関心をもち、家庭生活における自分の役割を積極的に果たすとともに、規則正しく健康に気をつけて生活しようとしている。	◎家庭生活やそれを支えている家の人のこと、自分でできることなどについて、自分なりに考えたり、家庭生活が楽しくなるように工夫したりして、それを振り返って友だちと伝え合っている。	◎規則正しく健康に生活することの大切さや、家庭生活を支えている家の人のことがわかるとともに、自分でできることや、自分の役割について気付いている。

5 指導と評価の計画（全8時間）

時	主な学習活動	評価規準 [評価方法]		
		生活への関心・意欲・態度	活動や体験についての思考・表現	身近な環境や自分についての気付き
一 次	① 家庭での自分の1日の生活を振り返り調べてきたことをもとにワークシートに書く。 ② ワークシートをもとにして、見つけたことや気付いたことを話し合う。 ③ 話し合ったことをもとに「理想の1日」を考える。	・自分の1日の生活に関心をもち、規則正しく健康に気をつけて生活しようとしている。[発言]	・家庭における自分の生活を振り返り見直している。 [ワークシート]	・食事や睡眠など規則正しく健康な生活をする大切さに気付いている。 [発言]

二 次	① 家の人がしていることや家の人にしてもらっていることを振り返り発表し合う。			・家庭にはたくさんの仕事があり家族の人からたくさんの仕事をしてもらっていることに気付いている。 [発言]
	② 家庭で自分ができることを考え、実施する計画を立てる。	・家の人がしていることや自分がしてもらっていることに関心をもち、自分でできることをしようとしている。 [ワークシート、発言]		
	③ 自分が取り組んだことをグループで発表し合う。		・自分でできることを見つけ、計画を立て、家庭生活が楽しくなるよう工夫して取り組んでいる。 [ワークシート、発言]	
三 次	① 自分が更に続けていきたいこと、挑戦したいことを考え、書く。	・家庭の一員として、継続的に自分の役割を果たしたり、健康に気を付けて生活したりしようとしている。 [ワークシート]		
	② 自分が取り組んでいることや続けてよかったこと、お家の人の喜びの声などを発表し合う。(本時)	・家庭の一員として、継続的に自分の役割を果たしたり、健康に気を付けて生活したりしようとしている。 [発言]		・自分でできることや、家庭生活における役割が増えた自分や友だちの成長、良さに気付いている。 [発言]

6 本時の指導（8／8）

（1） 目標・評価規準・評価方法

本時の目標	○☆自分の家庭での役割を継続的に果たそうとしたり、増やそうとしたりするとともに、家族の一員としてよりよい生活をしようとする意欲をもつことができる。
本時の評価規準	○☆家庭の一員として、継続的に自分の役割を果たしたり、健康に気を付けて生活したりしようとしている。[発言・発表] ○☆自分でできることや家庭生活における役割が増えた自分や友だちの成長、よさに気付いている。[発言]

(2) 展開

学習活動	指導上の留意点 ○ 教科等の留意事項 ☆ キャリア教育視点での留意事項	評価規準 [評価方法]
1 本時の学習課題を知る。		
「まかせてね！かぞく にこにこはっぴょうかい」をしよう		
2 発表会をする。 ・発表する。 ・発表会を聞いて、感想や、意見を伝え合う。 3 お家の人からの手紙を読む。	○発表者は聞き手によくわかるように実演や道具、写真や絵を取り入れ発表させる。 ○☆発表者は、やっていて嬉しかったこと、続けてよかったこと、お家の人の喜びの声、頑張ったことなども入れて発表させる。 ○☆聞き手には「友だちの頑張り」「まねしてみたいこと」などに気を付けながら聞かせる。 ☆取り組んでみて頑張ったことや嬉しかったこと、家族の反応などを発表させ、友だちと話し合う中で「やってよかったな」「これからがんばろう」という気持ちを高める。 ○子どもが読むことができ、意欲につながる手紙を書いてもらうよう、事前に知らせておく。 ○全体で手紙を紹介し、今後の継続への意欲化を図る。	関 家族の一員として、継続的に自分の役割を果たしたり、健康に気を付けて生活したりしようとしている。 [発言・発表] 気 自分でできることや、家庭生活における役割が増えた自分や友だちの成長、よさに気付いている。(発言)

板書計画

「まかせてね！かぞく にこにこはっぴょうかい」をしよう											
児童名 内容											

かんそう